

**大学・高専機能強化支援事業**  
**(学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)【支援1】**  
**事業概要**

令和5年7月時点

**1. 基本情報**

選定年度	令和5年度	学校コード	F101310100203
大学名	北海道科学大学	設置区分	私立
学校種	大学	都道府県	北海道
大学全体の総収容定員数	4,443名 ※令和5年5月1日時点		
学部学科組織構成	工学部（機械工学科、情報工学科、電気電子工学科、建築学科、都市環境学科）、薬学部（薬学科）、保健医療学部（看護学科、理学療法学科、義肢装具学科、臨床工学科、診療放射線学科）、未来デザイン学部（メディアデザイン学科、人間社会学科）		

**2. 事業概要**

<p>情報技術を駆使し、<b>Society5.0</b>を実現し、地域社会が抱える課題に対してDXを通じた解決策を提案・実行できる人材を育成するため、入学定員100名、収容定員400名からなる<b>情報科学部情報科学科</b>を令和7年（2025）年度に開設予定です。</p> <p>デジタル化の加速度的な進展、Society5.0時代に求められる情報科学系分野の技術と知識を有し、<b>多様な価値観と新しい発想のもと、社会の課題解決と持続的な社会実現に寄与できる人材を養成</b>することを目指します。</p> <p>AI・データサイエンス系科目等を中心に、道内経済団体の協力の下、<b>地元企業から実データ・実課題の提供を受け、実課題の解決に向けたカリキュラム</b>となっています。また、現在取り組んでいる地域企業とのパートナーシップを発展させ、企業協力による授業を増やし、<b>1年次から実課題を題材としたPBL型教育を導入し、実践力を身に付ける教育プログラム</b>の構築を目指します。</p>
---

**3. 本事業で新たに設置等を行う組織**

改組予定年度	令和7年度
認可申請・届出予定	令和6年度 ※既に申請・届出している場合はその年度を記入
改組内容	学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）
設置等組織名	情報科学部情報科学科
設置等組織の学位分野	工学関係
当該学部等の所在地	北海道札幌市
入学定員	100名
収容定員	400名
入学定員の増加数	100名
他学部等の入学定員の減少数	100名

※学部・学科を新設する計画である場合は、当該学部等の所在地欄は予定所在地を記入。

※入学定員には編入学定員を含む。

## <基本情報>

改組予定年度：令和7年度  
 改組内容：学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）  
 設置等組織名：情報科学部情報科学科  
 入学定員：【R7新設】100名  
 所在地：北海道札幌市

## 北海道科学大学 入学定員 100名

### 情報科学部 情報科学科

<https://www.hus.ac.jp/information-science/>  
\*構想中の内容は学部学科名称含めて予定であり、計画の変更の可能性があります。（仮称・設置構想中）

### 設置の理念

課題先進地域である北海道の維持・発展のためには？

他地域に先駆けたデジタル化推進とSociety5.0の実現

地域を支え、地域と共に発展する大学として寄与

情報科学分野の学術研究を通して、社会や技術の変化に対応できる能力を涵養し、社会の課題発見と解決、さらには活性化に資する能力を持つデジタル人材を養成するために情報科学部情報科学科を設置

### 養成する人材像

コミュニケーション力、課題発見解決力、自らを律し学び続ける力、多様な視点から物事を捉え異なる意見を理解する力といった基盤能力とSociety5.0時代に求められる情報科学の技術と知識を有し、社会の課題発見解決と持続的な社会実現に寄与できるデジタル人材を養成

### カリキュラムなど

### 実践力を養う

学修に必要な資質・能力・意欲を評価する多様な選抜方法

2025年度の入学選抜試験より、新科目「情報」導入  
 連携高校への出前授業等を通じて興味喚起

多様な入学者の確保

#### IoT、AI・データサイエンス系科目

「情報処理法」「統計分析法」「データサイエンス」「AI入門」「ビッグデータとデータベース」「クラウドコンピューティング」「エンベデッドシステム」

地域企業とのパートナーシップを構築させ、企業協力による授業を増やし、1次から実課題を題材としたPBL型教育を導入

「データサイエンスプログラミング」「コンピュータネットワーク演習」「インターネットセキュリティ」「セキュリティ理論」「システム開発」「モバイルシステム構築演習」

豊富な実務経験を有する教員の配置→現場経験に基づく実践的スキル

実験・演習環境、PBLのための環境整備（ITツール）、クラウド演習環境や数値解析ソフトウェア等の再整備や充実化 施設設備強化

社会的ニーズの高い情報分野  
 将来的に人材不足が懸念されるIT人材

地元産業界へのニーズ調査

求められる人材の輩出

入学 → 大学での教育 → 卒業

寄付金、共同研究など外部資金獲得による一層の研究力向上、教育環境設備の拡充（フェーズ3までに2.5%増）

## 情報科学部 4つの特色



情報技術の基礎・基盤からAI・IoT・ビッグデータ・クラウドなどの最先端技術までを体系的に学べるカリキュラム



最新機材や最先端技術が導入され、実践を通して知識や技術を修得できる課題解決型授業



どの分野の人材にも必要な基盤能力を育成する全学共通プログラム「HUSスタンダード」や総合大学の特色を生かした学部横断の学びや研究



多様なバックグラウンドを持ち、先端の研究分野をカバーする教員陣により提供される、理論と技術の両方を身に付けられる教育研究環境

## 情報科学部で学べる分野

### AI・データサイエンス分野



### 情報システム分野



### マルチメディア情報処理分野



### 専門基礎



### 想定される卒業後の進路・職業

#### 想定される進路

- 大学院進学
- 通信業
- 情報サービス業
- インターネット付随サービス業
- 情報システムの設計、開発、構築、運用、保守、管理を行う業務
- 情報処理・提供サービスを行う業務
- 高等学校（情報、数学）の教諭